

## 17 Let's Try! 3

### 将来の夢について発表しよう

英語監修・出演 阿野 幸一

**きょうの目標** 将来の夢について発表することができる

- 文と文につながりを持たせるには
- 将来の夢を伝えよう

**文法・表現** 不定詞、動名詞、伝わるスピーチ原稿の作り方（接続詞 **but, because** などの使い方）

#### 文と文につながりを持たせるには

次の2つの文を見てみましょう。

I want to visit many foreign countries.

(私はたくさんの外国を訪れたいです)

I want to communicate with all kinds of people.

(私はいろいろな人たちとコミュニケーションをとりたいです)

どちらも「私がしたいこと」を述べていますが、別々のことではなく、「外国を訪れて、いろいろな人たちとコミュニケーションをとりたい」と連続性のある内容について述べていることがわかります。このような場合に、対等なもの（単語と単語、文と文など）をつなげる **and**（そして）を使います。この2つの文の対等な部分を並べると次のようになります。

visit many foreign countries

I want to

and

communicate with all kinds of people

つまり、以下のように **and** でつなげることで、まとまりのある文にすることができます。

I want to visit many foreign countries and communicate with all kinds of people.

(私はたくさんの外国を訪れて、いろいろな人たちとコミュニケーションをとりたいです)

ではこの文にもう1つ別の文を続けてみましょう。

I want to visit many foreign countries and communicate with all kinds of people.

I'm not ready.

(私は準備ができていません)

2つ目の文 "I'm not ready." は、1つ目の文で表している「たくさんの外国を訪れている人たちとコミュニケーションをとりたい」という内容に対して、「でもまだ準備ができて

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

ていない」という関係が成り立ちます。このように、単語と単語や文と文を、「しかし」という逆説で結ぶときには **but** でつなぎます。

**I want to visit many foreign countries and communicate with all kinds of people, but I'm not ready.**

(私はたくさんの外国を訪れていろいろな人たちとコミュニケーションをとりたいと思っていますが、まだ準備ができていません)

次に以下の2つの文の関係を考えてみましょう。

**I'll try to improve my English.**

(私は英語を上達させる努力をします)

**It's not good enough.**

(それは十分ではありません)

2つ目の文は、1つ目の文の「英語を上達させる努力をする」理由を表しています。このようにあることを述べた後でその理由を述べるときには、理由を表す文の前に **because** をつけて文をつなぎます。

**I'll try to improve my English because it's not good enough.**

(私の英語は十分ではないので、英語を上達させる努力をします)

### 将来の夢を伝えよう

自分の将来の夢を述べるにはいろいろなスピーチの形がありますが、その1つの例を見てみましょう。

- ① I like soccer.  
(私はサッカーが好きです)
- ② I want to teach it to children.  
(私は子どもたちにサッカーを教えたいです)
- ③ So I'll do my best to be a soccer coach in the future.  
(だから、将来サッカーのコーチになるためにベストを尽くします)

まず①の文で、自分が好きなことを伝えます。そして②の文で、その好きなことに関して自分がしたいと考えていることを述べます。そして③で、具体的な将来の夢を述べるとともに、その夢を実現させるための決意を述べています。このように、スピーチなどでは、1つのテーマに沿って話題を展開することが大切です。

\* \* \*

このスピーチを参考にして、下のスピーチ原稿の( )に語句を入れて、みなさんの将来の夢について伝えるスピーチをしてみましょう。

- I like ( \_\_\_\_\_ ). !好きなことを伝えましょう
- I want to ( \_\_\_\_\_ ). !したいと思っていることを述べましょう
- So I'll do my best to be ( \_\_\_\_\_ ) in the future. !将来の夢と決意を語りましょう

## あの先生のこの話!



## 表す意味を考えて単語を使い分けよう

「たくさんの外国を訪れたいです」を英語にすると次のような文になります。

I want to visit many foreign countries.

この文では、「国」を表す単語として **country** を使っています。しかし、同じく日本語では「国」を表す **nation** はここでは使いません。なぜでしょうか？ この2つの単語が表す意味を比べてみましょう。

**country** …… 地理的な国土

**nation** …… 言葉や文化を共有している人々の集まりとしての国家

このような違いがあります。上の文のように、旅行などで訪れたいのは地理的な国としての外国のため、**country** を使います。それに対して「国民の休日」というときには、**nation** からできた **national** という単語を使って **a national holiday** と言います。これは、休日は国で定めた休みであり、国民のための休日だからです。

同じように「家」を表す英語にも **house** と **home** という2つの単語があります。

**house** …… 建物としての家

**home** …… 主に生活の場としての家

**home** は「家庭」の温かさを感じる言葉のため、**sweet home**（楽しいわが家）のように言うことができます。

日本語では1つの同じことばで表す場合でも、英語では、それぞれの単語の表す意味をとらえて使えるようになると、より正確なコミュニケーションができるようになります。